

3 募集について

(1) 募集期間

令和8年2月6日（金）～ 3月20日（金）

(2) 対象者

海外展開を目指す県内中小企業の経営者、経営幹部、現地のマネジメントリーダーを目指す人材 等

(3) 定員

15人

※ 定員に達し次第締め切らせていただきます。なお、お申し込みが4人に満たない場合は講座の開講を見送らせていただきます。

(4) 受講料

432,000円／人

※ 「オプション科目」を受講する場合は、1小間につき8,000円／人が別途必要となります。

（例）経営者の意思決定OSをグローバル仕様へ【全5小間】→ 40,000円／人
グローバル経済（通貨と金融の仕組み）【全2小間】→ 16,000円／人

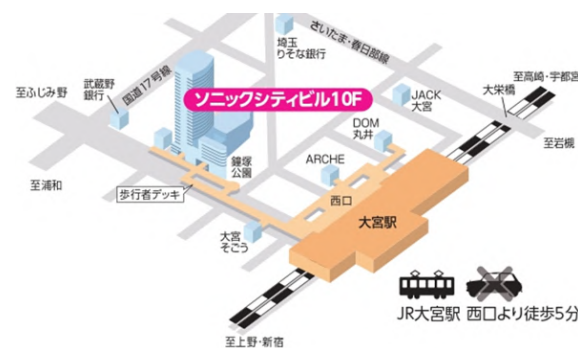
※ 「ノンディグリープログラム」を活用して埼玉大学大学院の授業の一部を受講する場合は、埼玉大学への申し込み及び1科目につき9,800円／人が別途必要となります。

(5) 会場

さいたま市大宮区桜木町1-7-5
ソニックシティビル10F 研修室B

※ 講師の都合等により変更となる場合もありますのでご了承ください
（別途、ご案内します）。

※ 「ノンディグリープログラム」を活用して埼玉大学経済経営系大学院の一部授業を受講する場合は、当該科目のみ、同大学の「東京ステーションカレッジ」（東京都千代田区）での受講となります。



(6) お申し込み方法

ホームページからお申し込みください。

<https://www.saitama-j.or.jp/seminar/26gaa>

【お申し込みにあたっての注意事項】

1. 受講される方は日常会話程度の英語力を有していることが望ましいです。
2. 「ノンディグリープログラム」の受講及び埼玉大学経済経営系大学院への進学を希望される場合は4年制大学を卒業していることが必要になります。



4 お問い合わせ先

（公財）埼玉県産業振興公社 総務企画部 研修・情報グループ 成松・玉井

T E L : 048-647-4087 M A I L : kensyu@saitama-j.or.jp



県内中小企業の
海外展開を担う人材を育成します！

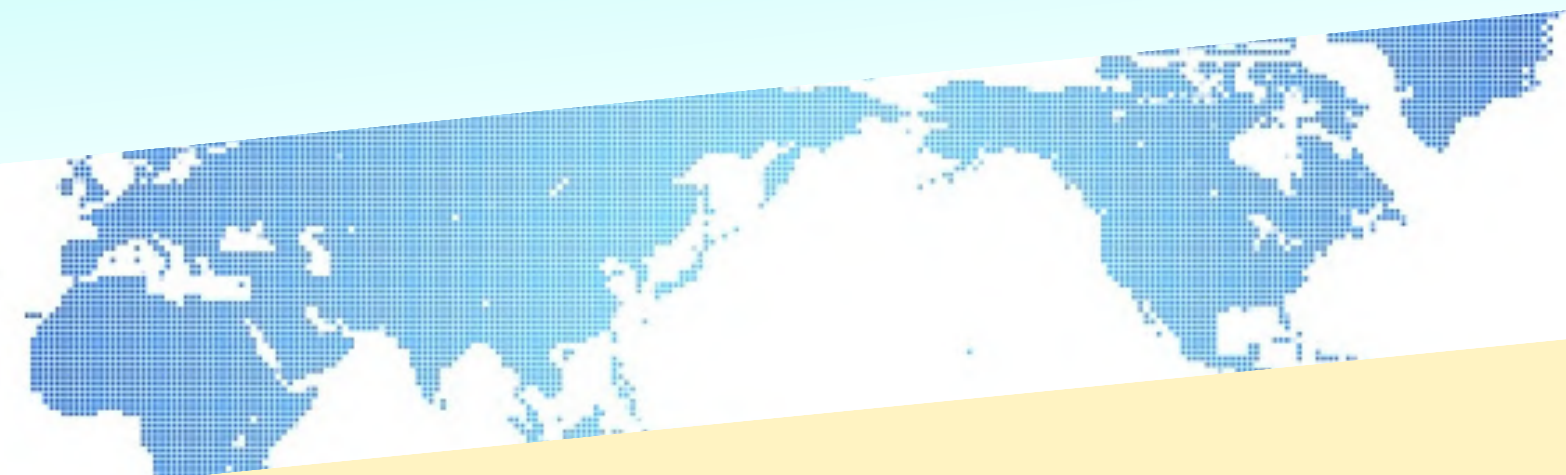
（公財）埼玉県産業振興公社

令和8年度

グローバルビジネス 人材育成講座

受講生募集

募集期間：令和8年2月6日（金）～3月20日（金）



人口減少・少子高齢化による国内市場の縮小が見込まれる中、海外展開は県内中小企業にとって重要な成長戦略となっており、グローバル人材の育成は喫緊の課題となっています。

公社では、県内中小企業のグローバル人材を年間を通じて育成する「グローバルビジネス人材育成講座」を新たに開設します。

同講座は、受講後の修士の取得も見据え、埼玉大学経済経営系大学院とも連携します。
県内中小企業の皆様の受講を心よりお待ちしております。

1 講座の特徴



（１）実務経験豊富な講師陣が即戦力人材を育成

総合商社や大手メーカーの海外事業部門を長く経験し、海外のビジネスパーソンとの交渉を経て来た、まさに「現場を熟知」した多彩な講師陣をお招きし、実務重視のカリキュラムで即戦力となる人材を育成します。

（２）一年を通じた講座開設で着実に人材育成

原則として隔週１回（木曜日）、年間５４小間を開講。「基礎スキル習得フェーズ」、「応用スキル習得フェーズ」、「実践・総合演習フェーズ」と、段階を踏まえたカリキュラムを年間を通じて学ぶことで、本格的な人材育成を目指します。

（３）「海外ビジネスプラン」の作成で自社の海外戦略を促進

講座を通じ「海外ビジネスプラン」を作成いただきます。これにより自社の課題と海外戦略の対応ビジョンを整理し、事業化の促進を図ります。また、受講生が埼玉大学経済経営系大学院への進学を希望する場合は、この「海外ビジネスプラン」を入試に必要な「研究計画」の一部として活用していただくことも可能です。

（４）オプション科目の選択で英語力とビジネス感覚を同時に習得

必須科目に加え、経済・経営分野を英語も用いながら学ぶ「オプション科目」もラインアップ。受講生の希望に応じて、英語力とビジネス感覚を養うことができます。

※ オプション科目のみの受講も可能です（外国籍の社員の方など）。希望される場合は「お問い合わせ先」までご連絡ください。

（５）埼玉大学経済経営系大学院との連携による博士前期課程（修士課程）進学支援

海外の経営者等の多くが大学院でビジネス分野を体系的に学んでいます。そこで本講座では、修士課程への準備として必要な経済、経営系科目も用意し、埼玉大学大学院で実際に教鞭を取られている教授陣による講義を受けることができます。

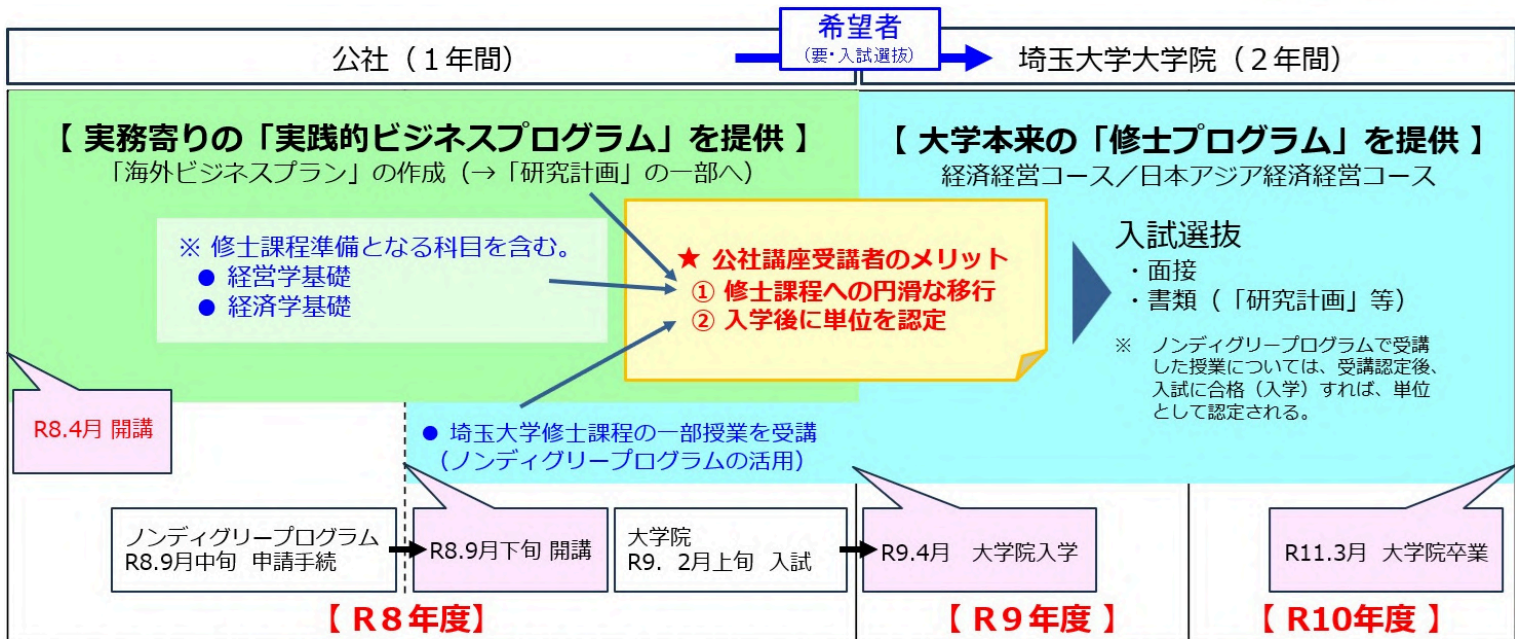
また、興味と意欲に応じて、埼玉大学の博士前期課程（修士課程）の一部を受講することのできる「ノンディグリープログラム」（※１）の活用も可能です。これらを通じて、大学院への円滑な進学を促し（※２）、受講生の修士取得を支援します。

※１ 埼玉大学「ノンディグリープログラム」は、大学院博士前期課程（修士課程）で行っている授業のうち基礎的な科目を開放して社会人の方々に受講していただき、その後の大学院進学を促進するためのプログラムです。修了認定を受け、その後、同課程に入学した場合は、その科目の単位が認定されます。

※２ 埼玉大学経済経営系大学院博士前期課程（修士課程）への進学については、別途、同大学の入試を受ける必要があります。入試に関して必要な手続きについては、受講生の方々に別途ご案内します。



【図表１】埼玉大学経済経営系大学院との連携について



* 「ノンディグリープログラム」および埼玉大学大学院の入試等に係る日程は「予定」です（詳細は同大学までお問合せください）。

2 カリキュラムの設定



（１）受講期間

令和８年４月２３日（木）～令和９年２月２５日（木） ※ ８月を除く



（２）必須科目（全１５講座）

- ・原則として毎月第２、第４木曜日開講（年間５４小間）
- ・１日３小間（①１０：３０～１２：００ ②１３：００～１４：３０ ③１５：００～１６：３０）

※ 具体的な「時間割」についてはホームページをご覧ください。



（３）オプション科目（全５講座）【任意】

専門科目（経済系・経営系）と英語学習を組み合わせた「内容言語統合型学習（CLIL）」

- ① 経営者の意思決定OSをグローバル仕様へー経営を英語で考え、発信する５週間ー【全５小間】
- ② グローバル経済（通貨と金融の仕組み）【全２小間】
- ③ グローバル経済（M&A）【全２小間】
- ④ 日本経済（激動するグローバル社会と日本）【全２小間】
- ⑤ 日本経済（失われた３０年）【全２小間】

※ ①から⑤のうちから選択ができます。

※ お申し込みが４人に満たない場合は講座の開講を見送らせていただきます。



（４）「ノンディグリープログラム」による博士前期課程（修士課程）の受講【任意】

受講生の方々には令和８年９月頃に別途ご案内します。

【図表２】カリキュラムについて

【必須科目】		科目	内容	小間数	小計	合計
開講式・オリエンテーション				1	1	
基礎スキル習得フェーズ						
サバイバル・イングリッシュ研修 ～言語制約下でのグローバル商談 ロールプレイ～	基礎	海外ビジネスの商談・交渉の場を「ロールプレイ形式」で実際に体験。持てる英語力でコミュニケーションを取り抜く能力を養う。	3			
	応用	AI翻訳の使いどころ、注意点、ニュアンスの補正、セキュリティの配慮、実務でのコツなどを、実例やミニ演習も交えながら「明日から使える」内容でご紹介	1			
AIを活用（翻訳）したコミュニケーション術				1		
異文化理解			文化・価値観・宗教等の違いへの理解	3		
国際ビジネスマナー			好印象をつくるビジネスマナー基礎	1		
海外市場の基礎知識	世界経済	世界経済の基本的構造・重要課題・将来展望	2			
	地域市場 北米・中南米・欧州・ 中国・東南アジア・ 南アジア（主としてインド）	各地域のビジネス環境と注意点	12			
日本経済		日本銀行と金融政策	1			
経営学基礎		経営学の考え方と意思決定のレンズ	1			
比較経営（アジア）		アジア新興国市場におけるチャネル（販路）構築戦略	1			
国際経営		国際経営戦略のフレームワーク	1			
応用スキル習得フェーズ						
国際マーケティング	一般	海外展開の基本戦略と実践的なマーケティングの基礎知識	4			
	ブランディング	海外ブランド経験から学ぶ売上を伸ばすブランディング	2			
国際交渉・法務	F/Sの進め方	海外市場攻略の調査・実行・撤退戦略	2			
	一般	国際ビジネスの契約・交渉のポイント	4			
異文化間チームマネジメント	契約書の読み方	実務に役立つ英文契約書の読み方と条項理解	2			
	一般	海外組織文化とグローバル人事マネジメント	2			
リスクマネジメント	ジェンダーマネジメント	グローバル視点で学ぶジェンダーとDE&I実践	1			
	一般	海外事業展開におけるリスクマネジメント	3			
国際物流	コーポレートガバナンス	海外ビジネスにおけるコンプライアンスのあり方	1			
	一般	貿易実務と国際物流の基礎と実践	2			
実践・総合演習フェーズ						
埼玉県内の海外進出企業・専門家との交流・総合演習				2	2	
閉講式・修了証授与				1	1	

【オプション科目】

科目		内容	小間数	合計
経営者の意思決定OSをグローバル仕様へー経営を英語で考え、発信する5週間ー		（経営系）の学習と外国語学習を組み合わせた「内容言語統合型学習（CLIL）」	5	
グローバル経済	通貨と金融の仕組み		2	
	M&A		2	
日本経済	激動するグローバル社会と日本	（経済系）の学習と外国語学習を組み合わせた「内容言語統合型学習（CLIL）」	2	
	失われた30年		2	

※ 科目名、内容等については変更になる場合があります。